

YIC ボランティア!

2022年
9月号

公益財団法人 八尾市国際交流センター (YIC) ボランティア活動情報誌

各イベントは新型コロナウイルスの感染状況により中止、延期になる場合があります。事前に確認してください。

案内

市民交流会

奈良であそぼう！みんなで交流

市民同士が楽しく交流し、友だちの輪を広げるきっかけとなる市民交流会を開催します。今回は世界文化遺産に登録されている文化財がたくさんある奈良市を訪れます！古都ならではの情緒を味わいながら、自然の中で交流を深めましょう。

と き：10月23日（日曜日）※雨天中止

【集合】①または② ①午前9時 近鉄八尾駅中央改札口
②午前10時30分 近鉄奈良駅（地上）行基菩薩像噴水前

【解散】午後3時 春日野園地（近鉄奈良駅から約1.2km）

定員：100人程度 ※小学生以下は保護者同伴

申込み：電話または来所（申込み順）※10月20日（木曜日）締切

持ち物：弁当、飲み物、レジャーシート、ペン1本、保険証 ※動きやすい服と靴で参加してください。

参加費：無料 交通費：自己負担（※参考 近鉄八尾駅 - 近鉄奈良駅 往復 大人1,040円 子ども520円）

主催：YIC市民交流会実行委員会

奈良公園でみんなで楽しくゲームをしたり、グループに分かれて観光したりします！



日本語交流とSALAは休みです。

みなさん、ぜひ誘い合って参加してください！！

案内

生涯学習センター開館

現在、改修工事に伴い閉館中の生涯学習センターは、9月16日（金曜日）から開館します。（一部利用不可）
開館後は、日本語交流やSALAの活動等は生涯学習センターで行います。
※引き続き工事が続く階などがあり、騒音や振動がすることがありますが、ご了承ください。

当日スケジュール（予定）		
午前9時	近鉄八尾駅	出発
午前10時13分	近鉄奈良駅	到着
午前11時	春日野園地	到着
午前11時30分	グループ散策	
午後12時30分	グループ昼食	
午後1時30分	ゲーム交流	
午後3時	現地解散	

案内

河内音頭まつりに一緒に行こう！

八尾を代表する夏の風物詩「八尾河内音頭まつり」。みんなで一緒に、浴衣や法被を着て、河内音頭を見たり、踊ったりしませんか！？

今年はアリオ八尾と LINOAS で開催！

浴衣の着付け

浴衣を着て、河内音頭まつりに参加しましょう♪
じかん：午後2時から午後3時30分
ところ：生涯学習センター・小研修室（1）（2）
定員：女性7人・男性8人（申込み順）
対象：外国人住民

申込み：電話または来所

えんやこらせ～
どっこいせ～



河内音頭まつりに参加

一緒に河内音頭まつりに行きましょう♪
集会：午後3時30分（YIC事務所）
解散：午後5時頃
申込み：電話または来所



案内

日本語交流ボランティア 集まり会

日本語交流の情報交換の場として、ボランティア同士が集まって話をする会を開催します！他のペアはどのように活動しているのだろう、会話を希望する学習者とどのように交流しているのだろう等、日頃の活動で気になること、聞いてみたいこと、悩んでいること等、みんなで話してみませんか？

★とき：10月9日（日曜日）午後1時から午後2時30分まで

★ところ：生涯学習センター・中研修室（1）

★対象：日本語交流ボランティア

★参加費：無料

★定員：15人（申込み順）

★申込み：電話または来所



ぜひ、お気軽にご参加ください！

募集

世界各国・各地の凧集めています！



舞い上がれ！

世界の凧あげ Festival 開催



来年1月に、市民交流会「世界の凧あげ Festival」の開催を予定しています。日本の伝統文化の一つでもある凧あげですが、最近ではあげる場所や機会が少なくなっています。そこで、日本を含む世界各地の凧を市民のみなさんと一緒にあげ、国際色豊かな新年の交流イベントとして開催したいと思っています♪

できる限り多くの凧をみなさんに紹介するため、「出身国・地域の凧を作れます！」「海外の知り合いに送ってもらうことができます！」「会社の支店がある〇〇の凧が手に入ります！」など、海外の凧集めに協力できそうな方や企業様からの連絡をお待ちしています。連絡先：072-924-3331 ※ご協力者や企業のお名前を大会当日配布資料に掲載します。（希望される場合）

様々な色や形の凧が大空を舞い上がる、国境のない世界を一緒に創りましょう！

日本語交流とSALAの活動開始1時間前に[八尾市]に警報が発令されている場合は、お休みとなります。

その際、ボランティアの人はペアの学習者や子どもの保護者にお伝えいただけますようお願いします。発令しているかどうか不安な人はYICまでお問い合わせください。

案内

災害に備えよう！

日本では、地震や台風・豪雨・洪水などの自然災害が多くあります。万が一に備えて、やお防災マップで防災グッズの見直し、家族で災害時の対応を話し合いましょう。

八尾市で大災害が起きたら、YICに八尾市災害時多言語支援センターが開設されます。

市からの災害情報などをボランティアや他団体の協力を得ながら多言語に翻訳し、避難所やFacebook、ホームページなどに情報を発信します。

「YIC 災害時ボランティア」募集中！

報告



子どもワールド講座

Nikkyと英語でケニア文化を学ぼう!!

8月20日(土曜日)開催
参加者9人(小学生高学年)

夏休みの子ども向け講座として、ケニア出身のNikkyさんにケニア文化を紹介してもらい、ケニアのお菓子MANDAZIと一緒に作りました。講師の説明が「英語」だけで始まるときどき、子どもたちは少し緊張しているような様子でしたが、徐々に積極的に質問に答える子どもが増えていきました。

MANDAZIの作り方は簡単だと聞いていましたが、こねて生地を作る時は、牛乳と粉がうまく混ざらなくて子どもたちにとっては思ったよりも大変な作業になりました。各グループに艶のあるまとまった生地ができあがった時は、大きな峠を乗り越えたようでホッとしました。できあがったレモンとカルダモンの香る揚げドーナツのようなおやつを、みんなパクパクと食べていました。「Today, did you enjoyed? (今日は楽しかった?)」と最後に講師が聞いたときは、たくさんの子どもが手を挙げ、「Yeah!」と答え、ケニア文化を存分に楽しんでいたことが伝わってきました♪



トレジャー

Treasure Yic

108th



田村 マリアナさん
ルーマニア・ロマン市出身
YICメンバー歴 約5年

YICメンバーを数珠つなぎ形式でインタビュー。
前回の奥谷勝子さんからの紹介です！

日本と言えばお箸でご飯を食べ、侍がいるというイメージを持って17年前に来日したマリアナさん。当時は、南瓜の煮物を見ても家畜の餌を想像し、太るイメージしかなかった米は食べられず、納豆なんて絶対無理！！と、日本の食文化に慣れず、辛い毎日を過ごしていたそうです。しかし、夫や日本で出会った同じ出身の友人を通して日本の文化を知っていく中で、少しずつチャレンジする気持ちが芽生えたと言います。今では納豆は毎日欠かさず食べ、わさびのないお寿司では物足りないと感じるほど日本食が大好きなんだそう。

「職場の介護施設で使っている日本語は、『寝ました。』じゃないねん『入眠されました。』、『部屋に入った時』は『訪室時』やで。」と説明してくれたマリアナさん。関西弁も丁寧語も上手く使い分けられる日本語力に驚き！学校には行かず家族に習いながらこれまで勉強してきたと聞き、さらに驚きました。YICで日本語交流を始めたのは、漢字をもう少し勉強したいと思ったからだそう。「漢字の書き順を学んでから漢字がもっと覚えやすくなった。」と言い、今では人の名前を聞くときには必ずどんな漢字を使うのかも聞くそうです。日本語で話したり、ぼやいたり、冗談を言ったり、夢の中でも日本語にどっぷり浸かっているマリアナさん。「人間は死ぬまでずっと勉強するもの。」と言う言葉を聴き、マリアナさんの日本語はこれからもっと磨きがかかっていくのだろうと思いました。

